保護者の皆さまへ……年2回、4月・10月発行

KAGOSHIMA UNIVERSITY

鹿大だより

第3号

◎編集・発行／国立大学法人 鹿児島大学広報委員会　〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21番24号 TEL099-285-7035 FAX099-285-3854

進化する鹿児島大学の教育

鹿大で最近始まった取組みと鹿大ならではのユニークな教育の一部分をご紹介します。

共通教育における新たな取組み

●ボランティア論

20年度、共通教育科目に「ボランティア論」を開講しました。福祉、環境、地域社会、国際協力など多様な領域に関し、講義と体験で単位認定。前・後期合わせて、約120名が受講、学生たちは「様々な角度から取り上げていて視野が広がった」「経験豊富な先生方が異口同音に『協力と継続』と強調したのが印象的」と刺激を受けています。本学では20年度を「ボランティア元年」と位置づけ、ボランティア支援センターを設置。学生・教職員の活動を支援していきます。

ボランティア体験は100近い受入先から自分で選ぶ（写真は蘭牟田池外来魚駆除）

●英語教育改革

習熟度別の少人数クラス制と国立大学で初めての国際英語検定（G-TELP）を導入した共通教育の英語教育改革では、70％の学生が英語学習の意欲や目的意識が高まるなどの効果が上がっています。

●鹿児島はひとつのキャンパス

21年度からは県内全12大学等が連携して、地域のリーダー養成をめざす「鹿児島はひとつのキャンパス」がスタート。全県同一の目標と方法で基礎能力を養う「かごしまカレッジ教育」、合宿で「鹿児島の本質と問題点を理解し、国際社会の中での個性化・活性化」を考える「かごしま教養プログラム」、鹿児島を体験する「かごしまフィールドスクール」の三段階で単位を取得します。Moodleを使ったICT教育（※）も大きな柱になる予定です。

■国際英検（G-TELP）導入が学生に与えているインパクト

1）一夜漬けでない英語学習の必要性を感じるようになった。
　40.60%　そう思う　／　38.60%　どちらかといえばそう思う
2）G-TELP模擬試験など、何らかの事前学習を行った。
　23.40%　／　29.40%
3）英語学習に対する学習意欲や目的意識が高まる。
　25.90%　／　43.90%
4）TOEIC、TOEFL、英検等の外部試験を1-2年次に受験する計画でいる。
　26.90%　／　24.20%
5）現在履修している英語科目に対して、ほぼ毎週授業時間外学習を行っている。
　24.60%　／　31.60%

■地域リーダー養成のためのグローカル教養教育のプロセス

段階1　「かごしまカレッジ教育」基礎学力養成（関心の高い学生）
↓
各大学等における日本語リテラシー教育／大学等連携によるICT教材開発
段階2　「かごしま教養プログラム」鹿児島の本質（意欲の高い学生約300名）
「グローカル」を教育理念とする協働合宿
↓
段階3　「かごしまフィールドスクール」鹿児島の現場
自治体と連携したボランタリー／少人数体験・体感教育
↓
地域を理解し、モチベーションの高い学生「教養かごしま大使」誕生！

※インターネットなど情報通信技術を活用した教育。Moodleはeラーニングソフトウェアの一つ

◎学長インタビュー INTERVIEW

進取の気性を養成するカリキュラムを

鹿児島大学長　吉田浩己

本学は鹿児島の先人たちの意思を受け継ぐ「進取の気性」を持つ人材の育成と、地域とともに社会の発展に貢献する「進取の気風」あふれる総合大学を目指しています。進取の気性を養成するため社会と触れ合い、倫理観・人間力を高める系統的なカリキュラムを提供します。また「島嶼」「環境」「食と健康」など、恵まれた自然環境を活かした全学横断の教育・研究プロジェクトも進めています。近年、とくにアジア・太平洋地域との国際共同研究・教育が進展。地域のリーダー、かつグローバルに活躍できる人材を育てる教育に邁進します。

■稲盛アカデミーの核となる重点科目

- 稲盛セミナー
- 経営哲学
- 人間力経営
- 先人に学ぶリーダーシップⅠ・Ⅱ
- 経営管理入門
- 20歳からのハローワークⅠ・Ⅱ
- 生き方と道徳
- ベトナム農村体験学習

●稲盛アカデミー

稲盛アカデミーは21年度から本格始動。『人間力を学ぶ』を教育理念に、共通教育に45科目が開講されます。なかでも先人の思想や稲盛和夫氏をはじめとする著名講師によるセミナー、現役経営者の講義や職場等での体験学習など、特徴的な10科目が核となる重点科目となっています。

インテンシブ理数教育特別プログラム

文部科学省「理数学生応援プロジェクト」に採択され、20年度から理学部で実施。「研究を支える基礎学力・技能を身に付けるための正課教育」と「学習意欲・研究意欲を刺激するための課外教育」を組み合わせたものです。1年次から専門教育を体験できる「サイエンスクラブ」、英語での専門教育やプレゼンテーション力を鍛える「インテンシブ英語」など、意欲的な学生が多数受講しています。

実験等で教授や院生とも関わるサイエンス・クラブ

鹿児島探訪とMoodle

鹿児島の文化・自然・環境等に関する講義シリーズと離島や鹿児島湾など体験シリーズ等で構成される共通科目の人気講座。20年度は36科目に2700名以上が受講しました。講義ビデオはホームページ上で公開（※）されています。Moodleを利用した教育も特徴。パソコンで講義資料や課題を閲覧できるほか、携帯でもレポート、小テスト、授業アンケート提出など教員と学生、双方向のやりとりができます。Moodleは「かごしまはひとつのキャンパス」でも重要なツールです。ノート型パソコンの利用をお勧めします。

※学内共同教育研究施設等→教育センター→講義・イベントビデオ配信

国際協力農業体験講座

全学生が受講できる共通教育科目で、タイまたはミャンマーに10日間滞在、国際協力の現場を体験します。タイの受入先はNGO「21世紀農場」。設立者谷口巳三郎氏（農学部の前身・鹿児島農林専門学校OB）は定年退職後タイに移住、80代の現在まで農業技術指導やエイズ患者支援などに取り組んでいます。ミャンマーではNPO「地球市民の会」が受入先で、農作業や現地の学生たちとの交流、ポー族の家庭でのホームステイも体験。平成11年度からの10年間で延べ213名が受講しました。

↑ミャンマー、インレー湖を渡る
→大先輩でもある谷口先生の生き方に感動

焼酎学講座

平成19年4月に開講した日本初の焼酎学講座。焼酎製造学と醸造微生物学の2つの研究室があり、平成19年度に学部生8名、修士課程4名、20年度は学部生12名、修士3名、博士1名を受け入れています。焼酎製造の実習や研究を行うとともに、学部や共通教育に焼酎学、焼酎文化論等の講義を提供。平成20年度はじめてとなる卒業生のうち、3名は進学、5名は県内焼酎メーカーに就職しました。

平成20年度学生表彰　COLUMN

●鹿児島大学稲盛賞

（①学業に専念し成績優秀で品行方正な最終学年次の者、②社会の期待にこたえるような業績を挙げた者、③その他同等以上の表彰に価する行為等があったと認められる者を表彰）

・法文学部／尾崎正憲、小島千聖　・教育学部／齋藤暢貴、伊達翔一　・理学部／坂本耕一郎、林崇大　・医学部／湯脇恵一、大山望　・歯学部／楠山譲二　・工学部／徳田貴志、花原裕美子　・農学部／川路まり、中利美和　・水産学部／丹羽稔久、福山笑里

●鹿児島大学工業倶楽部賞

（①鹿児島県地域産業の発展に貢献する優秀な研究業績を挙げた者、②その他同等以上の研究、行為等を行い、表彰に価すると認められる者を表彰）

・理工学研究科／岩川建彦
・教育学研究科／畑中章吾

※学生の学年は3月時点のものです。

Clubs サークル紹介

奇術同好会

企業や地域のイベントでも活躍

3年生は大学祭で引退するため、3月までのメンバーは1・2年の12名。ほぼ全員が初心者でバルーンアートやマジックとジャグリングができるよう、先輩に技を習うことから始めます。

大学のイベント、企業や地域のお祭り、子ども会、老人会など出演依頼は多く、昨年は6～9月ビアガーデンでのショーも行いました。「一芸が欲しくて入部しました。子どもが喜んでくれると幸せです」と会長の豊西敬さん（水産学部2年）。音楽や衣装、トークも工夫します。人前に出るのが得意でなくても、経験を積むうちに喜ばれるのが快感になるそう。ある程度まではすぐに上達しますが、壁にもぶつかります。「でも練習すれば必ず上手くなります。DVDやネットで独習もできますが、部室だと皆で教え合える」と、各々の空き時間に部室で練習しています。

出演料を貰う機会が多いため、プロの責任感も必要。「依頼先のいろいろな社会人と知り合えるのも奇術同好会ならではです」。

詳しくは http://ameblo.jp/kijutsu

鹿児島大学学友会剣道部

九州3位、全国ベスト16の実績

20年度は南九州大会で男子団体3位、全日本学生剣道優勝大会でベスト16の剣道部。九州地区大学体育大会でも3位の実績です。女子6名を含む約30名の部員はほぼ全員経験者で、練習日は月曜から金曜の午後6～8時と土曜午前中の週6日。それでも練習量では私立の強豪にかないません。「自ら課題を持ち、頭を使って練習しないと伸びない」と主将の古瀬広知さん（理学部3年）。師範の指導も受けますが、基本的には部員だけで練習します。練習方針は3年生で相談し、4年生に確認して決定。「素振り、面・手・胴打ちなど基本を大事に、技に磨きをかけます」（元主将・鶴田信元さん、教育学部4年）。

1年生は早く来て道場を掃除し、敬語や挨拶などの上下関係も基本。全国大会に出場すると4年の10月まで現役です。「剣道があるから、勉強にも頑張れて学生生活が充実します」（古瀬さん）「いい仲間と思い出ができた。今後も剣道を続けたい」（鶴田さん）。

鹿大の主な出来事

平成20年10月～21年3月

EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY

●総合研究博物館特別展「鹿児島の活火山」を開催

総合研究博物館では10月21日～11月21日、第8回特別展「鹿児島の活火山」を開催。鹿児島の活火山の存在理由、考古学や歴史学に寄与した火山灰層、古文書に残された噴火活動、火山灰土壌が育む農作物や飲料水、シラスを利用した工業製品などが展示されました。

●鹿児島銀行と農業経営管理システム開発で連携協定を締結

11月28日、鹿児島銀行と本学は農業経営管理システムの共同開発に係る連携協定を締結しました。同システムは農業の経営管理及び生産・販売管理の高度化をめざしたデータベース。農業経営等の知的資源を有する本学が、「アグリクラスター構想」を機軸に地域の産業育成を推進する鹿児島銀行と連携して地域経済の活性化に取り組むことになります。

●（社）日本軽種馬協会が最先端の軽種馬医療施設を寄贈

（社）日本軽種馬協会（JBBA）から寄贈された農学部附属動物病院軽種馬診療センターの竣工・寄贈記念式典を12月5日、挙行しました。南九州における馬獣医療基地としての役割を果たし、軽種馬獣医師の卒後教育と後継者育成の推進や研究の高度化を図ることが目的です。

ハイクリーン陽圧手術室見学の様子

●シニア短期留学を開催

生涯学習教育研究センターでは、50歳以上の方を対象に、鹿児島の歴史、文化、地理などの講義を開講する「シニア短期留学」を実施しています。第3回目は11月24日～12月6日までの2週間、講義のほか農学部附属演習林や水産学部練習船での体験実習、天障院篤姫ゆかりの地なども訪れました。

●鹿児島環境学シンポジウムを開催

本学では10月、全学横断で「鹿児島環境学プロジェクト」を立ち上げました。地球環境から自然保護にわたる広汎な環境問題を体系化し、具体的な提言を発信することを目的に、1月24日、鹿児島環境学シンポジウムを開催。山極寿一京都大学大学院教授などの基調講演の後、「鹿児島環境学への提言」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

パネルディスカッションの様子

●JUNBA2009に出席 サンフランシスコで日米の産学官連携の在り方を議論

米国に拠点を置く大学（大阪大学、九州大学、東北大学、法政大学、横浜市立大学、東京大学、本学）で構成される「JUNBA2009」が1月12・13日、サンフランシスコで開催されました。吉田学長を含む5大学のJUNBA会員によるサミット等が行われ、シンポジウムではJUNBA会長を務める、井手祐二鹿児島大学北米教育研究センター長が環境技術研究に関する日米連携の在り方等について提案。日米の研究者によるセッションも行われました。

●垂水市と包括連携協定を締結

1月27日、鹿児島県垂水市と本学は包括連携協定の締結式を行いました。これは平成18年から「第4次垂水市総合計画」の策定に関する連携協定を締結し、基本方針を策定した実績を踏まえたもの。今後、垂水市の住民福祉の向上やまちづくりに協力を深めて行く予定です。

サミットの様子

●第30回サントリー学芸賞を法文学部・日暮吉延教授が受賞

昨年1月に刊行した著書「東京裁判（講談社）」が評価され、「思想・歴史」部門で受賞。同賞は1979年に創設された学術賞で、広く社会と文化を考える独創的で優れた研究・評論活動を行った個人にサントリー文化財団が贈呈するもの。

●第45回ベルツ賞を医歯学総合研究科・丸山征郎教授が受賞

優れた医学研究論文に贈られるベルツ賞の1等賞に、丸山征郎教授らのグループの論文が選ばれた。「血栓症―最近の進歩―」をテーマとする論文募集で、血管内皮細胞の機能の解明と、トロンボモデュリンの遺伝子配列を世界で初めて明らかにすることに成功し、この蛋白の遺伝子組換え体を血栓症の治療薬開発にこぎつけたことが評価された。

●第57回南日本音楽コンクール・グランプリを教育学部3年・児玉友多郎さんが受賞

同コンクールはピアノ、声楽、作曲、弦楽、管打楽の5部門から構成（主催：南日本新聞社）。児玉さんはラフマニノフのピアノソナタを演奏し、テクニック、音楽性を高く評価された。

●第36回毎日農業記録賞を農学部2年・鶴屋健太さんが受賞

同賞は「農」や「食」「環境」との関わりをつづって応募するもので、鶴屋さんは一般部門・優良賞を受賞（主催：毎日新聞社）。講義や農家の方々に接することで、呼び起こされた有機農業への思いを投稿した。

●第2回長谷工住まいのデザインコンペティション最優秀賞を理工学研究科・学生グループが受賞

新たな集合住宅の提案を求めて、「30年後の集合住宅」を課題に学生対象に開催されたデザインコンペで、理工学研究科建築学専攻博士前期課程1年の富山晃一さん、岩元俊輔さん、津野田祐基さんが最優秀賞を受賞（主催：長谷工コーポレーション、後援：新建築社）。さまざまな世代が共に居住する「小さな都市と大きな家族」をテーマに、応募総数378点109校から選ばれた。

最新の情報は鹿児島大学ホームページをご覧ください。常時更新しております。また広報誌「鹿大ジャーナル」もホームページ内で閲覧（※）できます。

鹿児島大学広報誌「鹿大ジャーナル」　鹿児島大学のホームページ http://www.kagoshima-u.ac.jp

※「広報・情報公開」→「広報」→「大学刊行物」

MORE INFORMATION

◎鹿児島市の「あいばす」を学生がデザイン

10月に運行を始めた鹿児島市のコミュニティバス「あいばす」の車両デザインは、教育学部4年の迫田洋平さんが考案したもの。青空に虹と雲が描かれています。

◎学生支援寄付金

学生支援を目的とした寄付金制度があります。1口5千円で広く学内外に募集を行います。詳しくはHPまたは左記へ。

（事業内容）
学生部学生生活課
TEL 099(285)7331
（手続き）
財務部経理課収入係
TEL 099(285)3355

◎鹿大祭、桜ケ丘祭が開催されました。

11月に開催された大学祭は多数の市民の方にご来場いただきました。

学生支援の取組み

SUPPORTS FOR STUDENT

有意義な学生生活を送ってもらうための大学の取組みをご紹介します。

設備・施設 EQUIPMENT

基本方針に沿って、改修を進行。IT環境、図書館なども充実。

◎キャンパス

本学の施設は、基本方針に沿って整備を進めています。郡元キャンパスでは、20年度に共通教育棟2号館改修に稲盛アカデミー棟の新築を合築、21年度3号館を改修予定。農学部、理学部は改修がほぼ終わり、法文学部は1号館を20・21年度にかけて改修中。市の中心部に広大な緑地を有するキャンパスとして、地域と共存するキャンパス計画を検討しています。

↑昨年、校舎の全面改修が終了した農学部
←郡元キャンパスの中心、北展通り。稲盛アカデミー棟と共通教育棟2号館（左手前）、中央図書館（左奥）、理学部1号館（右）

桜ケ丘キャンパスでは、附属病院の再開発がスタート、最初の事業として新中央診療棟を建設中です。

◎IT環境

本学の学生は、学術情報基盤センターが管理する900台以上のパソコン端末を授業・自習・研究などに利用できます。専用のID、パスワードで学内随所にあるパソコン端末を、一部は平日は午後10時まで、土日も利用可能です。

学生は全員共通教育の授業等で基本ソフトの操作を学び、授業・ゼミ・研究室単位でも学術情報基盤センターの端末室を使った教育・研究が行われています。また全員に付与されるメールアドレスは在籍期間だけでなく生涯利用できます。

授業以外も学生が自由に利用できる学術情報基盤センター

◎図書館

附属図書館は中央図書館、桜ケ丘分館、水産学部分館の3館で構成されており、教育・研究に必要な学術資料を広い分野にわたり収集しています。3館とも学生や教職員だけでなく、市民の方も利用でき、年間延べ50万人以上が利用しています。メインとなる中央図書館は、平日は午前8時半から午後9時半、土日は午前10時から午後6時まで開館、閲覧室だけでなく、グループ学習室や研究個室も活用されています。

また、島津久光および玉里島津家の旧蔵書『玉里文庫』を所蔵し、毎年貴重書公開のイベントを開催するほか、写真展や美術展なども随時開催しています。

中央図書館の閲覧室。思い思いに自習に励む学生が多く、試験期間などは満席に

生活 CAMPUS LIFE

学生部と学部教務係・学生係中心に教職員全員でサポートします。

学生の学習と生活全般に関わる支援は、全学では学生部、学部では教務係・学生係を中心に教職員全員で取り組んでいます。

◎学生何でも相談室

学生はもちろん、保護者の方の悩みについては「学生何でも相談室」にご相談ください。来室だけでなく、電話・メール・手紙で対応しています。年間200件程度の相談を受けますが学生が約7割で、半分は電話、2割程度は保護者の相談。学生生活課の職員が窓口になり、相談員（各学部の学生生活委員）と相談室長（教育・学生担当理事）が連携して対応を進めます。

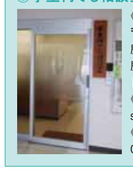
◎保健管理センター

郡元キャンパスの保健管理センターでは、毎年4月に全学生対象に定期健康診断を実施。医師が常駐し風邪やケガなど日常診療・応急手当はいつでも無料で受けられるほか、各診療科別の診療日も設けています。インフルエンザの予防接種等、学生の健康管理を常時行っています。人間関係や進路などの悩みに対応するカウンセラー・医師もいます。

◎連絡体制

また学生部の学務WEBシステムで休講情報等の事務連絡はパソコンだけでなく携帯にも通知されます。保護者の問合せが多い授業料の納入は4月27日、10月27日が口座引落日。授業料免除の申請時期等は前期は前年度の1月初旬、後期は6月初旬掲示板に掲示。ホームページの「教育・学生生活」→「入学料・授業料の免除等」にも掲載します。

◎学生何でも相談室



《手紙での相談》
〒890-0065
鹿児島市郡元一丁目21-30
鹿児島大学学生部学生生活課
「学生何でも相談室」宛て
《メールでの相談》
soudan@kuas.kagoshima-u.ac.jp
《電話での相談》
099-285-7311（FAX兼用）

各キャンパス計5ヶ所にある証明書発行機。学生証で各種証明書を入手できる

大学生協が運営する学生食堂。中央食堂は8:00～19:30営業。他に教育学部、桜ケ丘、水産学部にある

●鹿児島大学の連絡先一覧

学部地区	学部等		担当係名	主な問合せ内容	電話番号(直通)
郡元地区	学生部教務課		共通教育係	共通教育の授業や履修	099-285-8825
	学生部学生生活課		学生何でも相談室	困ったことや悩みの相談	099-285-7311
			就職支援室	就職に関する相談・問合せ	099-285-7341
			学生企画係	奨学金等の手続き	099-285-7335
			課外活動係	サークル・ボランティア活動等	099-285-7320
			経済支援係	入学料・授業料免除等	099-285-7033
			生活支援係	学生寮等	099-285-7340
	財務部経理課		収入係	授業料の納入等	099-285-3355
	法文学部		学生係	学部の授業や履修、生活全般	099-285-7525
	教育学部		教務係・学生係	学部の授業や履修、生活全般	099-285-7713
	理学部		学生係	学部の授業や履修、生活全般	099-285-8025
	工学部		学生係	学部の授業や履修、生活全般	099-285-8232
	農学部		教務係・学生係	学部の授業や履修、生活全般	099-285-8531
	保健管理センター			健康診断や健康相談	099-285-7385
桜ケ丘地区	医学部歯学部	学務課	医学教務係	学部の授業や履修	099-275-5125
			歯学教務係	学部の授業や履修	099-275-6040
			学生サービス係	医・歯学部の学生生活全般	099-275-6727
下荒田地区	水産学部		教務係・学生係	学部の授業や履修、生活全般	099-286-4040

◎先生インタビュー TEACHER'S INTERVIEW

教員は心理学を活かせるメジャーな職業

教育学部学校教育教員養成課程心理学 准教授　有倉巳幸

1965年生。広島大学大学院教育学研究科出身。著書に『ひとに〈取りえる〉心理学』（講談社現代新書）。1999年4月就任。

専門は社会心理学と教育心理学です。学部では教職基礎研究と学校教育カウンセリングを、心理学専攻には心理学統計法や対人関係の心理を教えています。ゼミは3年生と4年生が4人ずつ、今年度は「鹿児島イントネーション」における印象」などをテーマに実験方法や論文の書き方などをアドバイスしています。

教育学部で心理学専修は人気ですが、企業や大学院に進む人も多く、教師志望は半数以下。でも教師は心理学を活かせる職業です。子どもの発達段階に合わせた関わり方などに心理学は不可欠。教員養成課程は教員免許取得が必須で、多くは教員採用試験を受けるため、4年間で教師になる力を身につけて欲しい。教師でなくても、上司や親になれば「教える立場」になります。その意味で心理学は実用的な学問なのです。

私の主な研究テーマは「取り入り」です。人間関係をつくる上でのプラス面に注目しています。教員養成と教員研修を行う教育実践総合センターに所属し、県教委と連携した教員養成プログラムも担当。1年次から学校現場を体験するなど、実践力を重視した取組みです。採用枠が少ない鹿児島県での教員就職率は低いので、県外にも目を向け可能性を広げる必要もあるかと思います。

事例研究で社会と接し創造力を身に付ける

工学部建築学科居住環境構成学講座 准教授　鈴木健二

1974年生。京都大学大学院工学研究科出身。2007年日本建築学会奨励賞受賞。2007年2月就任。

高齢者施設に関する研究と既存の建物を増改築して使い続けるための研究がテーマです。大学院では高齢者施設の事例研究が、ユニットケアなど新しい制度作りに結びつきました。鹿児島に来てからは、離島や過疎地の廃校を再利用した事例など、地域性を活かした研究をしています。

研究室は4年生7名、修士1・2年各4名の15名。廃校、高齢者医療施設、デパートなどの増改築の事例を研究しています。創業時からの増改築回数では、おそらく全国一の鹿児島山形屋も研究対象です。建築はフィールドワークが基本。学生も対象物件の担当者とやりとりして、事例研究を進めます。現場に出て設計図をもらい、自分で図面を起こしていくと、理想と現実のギャップがわかります。研究室にいる間に、社会人と接して仕事の醍醐味も味わって欲しい。

最近は素直すぎて、自分の意見をあまり持たない学生が多いと思います。社会に出ると必ず意見を求められるので、学生のうちに変わらなくてはいけない。とくに設計の分野は自分のアイデアや創造力が必須。旅行して良い建物を見ることも大切です。意欲的な学生が社会では求められています。

就職支援 進学 CAREER

就職支援センターを中心に厳しい就職環境に即し、実践的な対策を強化。

低学年のキャリア教育から就職が決まるまでフォローする体制

本学は学生の就職活動をサポートする組織として、就職支援センターを設置し、各学部での就職支援活動と連携して、一人ひとりの夢を実現する体制づくりに取り組んでいます。昨年秋からの急速な景気の落ち込みにより、大学生の就職環境も悪化。これを受けて、就職支援センターでは、体制を強化しました。本格的な就職支援を行う3年生と大学院1年生に向けては、就職活動の流れに即して、年間8回のガイダンスと4回の就職支援講座を開催。4年生と大学院2年生に対しても「就活応援講座」を開催し、就職が決まるまで一人ひとりをサポートし続ける体制を取っています。21年度に関しては、従来行っていた就職情報の提供に加えて、模擬面接やグループディスカッション対策など、より実践的な支援講座等を強化していく方針です。

適職に就くには、自分の適性を理解し、職業や企業等の特質を理解することが必要です。そのため共通教育の1年生の後期と2年生の前期に、「キャリアデザイン」科目を設け、企業人など学外講師による、ビジネス現場の実状を踏まえた講義を行います。公務員・教員への進路も含めた多彩なキャリア教育で、低学年の間に学ぶ目的や職業意識を醸成します。

20年度は11月に開いたブース形式の学内合同企業セミナーに146社が参加、2月に11日間行われた個別企業説明会も127社が参加しました。大企業も多く、採用意欲が冷え込む中でも鹿大生への期待は高いものがあります。就職関係のイベント情報は、学内の掲示やホームページ等の広報に加え、携帯メールでも個別に届くため、学生への周知は徹底されています。ガイダンスは毎回盛況で、今年度は参加者が多数見込まれるガイダンスについては、同日2回開催するなどの対策も講じる予定です。

個別相談や学部の指導教員との連携で一人ひとりをサポート

就職支援センターでは個別の就職相談にも力を入れています。民間企業出身者を含む3名の専任スタッフと就職相談員が、自己分析・業界研究の方法から履歴書・エントリーシートの添削、模擬面接などを実施。予約すれば学年を問わずに受けることができます。毎年千名近い学生が個別相談を利用しています。

各学部では就職委員の教員を中心として、学部独自の就職支援事業が行われています（表参照）。3年進級時から個々の指導教員が学生の一人ひとりの進路希望や就職活動状況を把握し、進路決定まで確実にフォローする体制を構築しています。

不況により地元志向、公務員など安定志向の傾向は強まっていますが、受け皿は狭まっています。新幹線が開通すれば福岡まで1時間半。業種や企業選択の幅を広げるとともに、県外にも目を向け広い視野で将来を考えられる就職支援を行っていきます。

工学部の約半数、理学部は4割強など、大学院への進学者も増えています。出願が始まるのは4年次の6～8月頃ですが、研究科によりスケジュールは異なります。ほとんどの学生は3年次までに進学か就職かの方針を決定します。詳しくは各学部や指導教員にお問合せください。

11月に行われた学内合同企業セミナー

就職支援室は学生が自由に利用できる

●就職支援プログラム（平成21年度の予定）

◎1～2年生対象		
4月～7月	●	教養科目前期「キャリアデザイン」スタート
10月～翌年1月	●	教養科目後期「キャリアデザイン」スタート
◎3年生（修士1年生）対象		
5月～翌年4月	●	公務員・教員採用試験対策講座開設
6月上旬	●	学生向け就職小冊子「就職支援ガイドブック」発行
6月17日	●	第1回就職ガイダンス「就活スタートアップ」
7月上旬	●	就職支援講座Ⅰ「女子学生向けガイダンス」
9月上旬	●	就職支援講座Ⅱ「キャッチワークかごしま：出前講座」
9月16日	●	第2回就職ガイダンス「本格的な就職活動の方法」
9月下旬	●	就職支援講座Ⅲ「グループディスカッション対策講座」
10月7日	●	第3回就職ガイダンス「業界（企業）研究・自己分析」
10月21日	●	第4回就職ガイダンス「理工系学生向けの就職活動」
11月18日	●	第5回就職ガイダンス「鹿児島県内就職ガイダンス」
12月上旬	●	学内合同企業セミナー（ブース形式）
12月2日	●	第6回就職ガイダンス「公務員希望者ガイダンス」
12月上旬	●	鹿児島発キャリアデザインセミナー
1月13日	●	第7回就職ガイダンス「エントリーシート対策講座」
2月上旬	●	福岡開催の合同企業セミナー参加バスツアー
2月上旬	●	第8回就職ガイダンス「面接対策講座」
2月上旬	●	学内個別企業セミナーフェア（講義形式）
2月上旬	●	企業向け小冊子「求人のための大学紹介」発行
2月中旬3日間	●	就職支援講座Ⅳ「面接本番直前の模擬面接講座」
◎4年生（修士2年生）対象		
4月～翌年3月	●	学内個別企業説明会（随時）：3年生も対象
4月15日	●	公務員採用試験説明会（国、鹿児島県、鹿児島市等）
5月中旬	●	就職支援講座Ⅰ「未内定者へのアドバイス・相談会」
5月中旬	●	県外公立学校教員採用試験説明会
5月下旬	●	鹿児島県公立学校教員採用試験説明会
6月下旬	●	就職支援講座Ⅱ「公務員・教員受験者向けグループディスカッション対策」

●各学部の就職支援状況（平成20年度）

法文学部	①就職ガイダンス―「就職調書の記載方法」「公務員試験対策」、地元企業の「実践的就活講座」「模擬面接」、内定学生による「就職活動体験報告会」。②内定学生の「就職活動体験報告書」を発行。③企業人等による「キャリア科目」「キャリアアップ科目」の開講。キャリア討論会の実施等。
教育学部	①就職説明会と教員採用試験対策講演会、卒業生や合格者による教員採用試験対策講演会を開催。②受験生アンケートによる「教員採用試験の手引き」を発行。③県教育委員会担当者、現職校長による講演会の開催。④一次試験対策の講義（10回）の開講等。
理学部	①就職ガイダンス―外部講師による講演と内定学生体験報告。②県教育庁講師による教員選考試験対策講演会。③企業人等による講義「科学ジャーナリズム」「科学技術と現代社会」「知的財産権と科学」を開講。④就職指導は3～4年2ヵ年体制。教職員向け就職指導ガイダンスを開催等。
医学部保健学科	①専攻別に就職指導担当教員を定め、個別進路指導は卒業研究の担当教員が担ク体制。②募集要項、来訪施設の資料を就職資料室に掲示。③看護学では独自の冊子を発行、ガイダンス時に配布。理学・作業療法では、施設担当者による施設説明会の開催等。
工学部	①各学科で担任との面談後、就職担当教授を中心に個別対応する体制。②半数強は大学院に進学。就職は推薦の割合が高いが、自由応募も増加傾向。③学科別にOBによる就職ガイダンスを開催。④学内会社説明会と学科単位の個別会社説明会を実施等。
農学部	①農林食品業界による企業説明会「きばいやんせ鹿児島・九州」を開催。②外部講師による進路就職ガイダンス（年2回）、OB講演会を実施。③学科・講座単位で企業説明会、OB交流会、内定者の体験報告会を開催。④社会人リレー講義、農林食品産業リレー講義を開講等。
水産学部	①就職ガイダンスを年5回。「公務員志望対象（本学部教員）」「マナー・心構え等（外部講師）」「水産教員採用情報（水産高校教員）」「本学部OBによる講演会」「内定者の就職活動報告会」。②学部独自の合同会社説明会（50社参加）を開催。③求められる資質・能力等について企業訪問調査等。

●学部別大学院進学者の内訳（平成19年度）　単位：人

名称	進学者数	鹿児島大学大学院	他大学大学院
法文学部	33	人文社会科学15、法科大学院2	九州大学4、早稲田大学・岡山大学・鹿児島純心女子大学各2、その他6
教育学部	36	教育学28、医歯学1	筑波大学4、その他3
理学部	80	理工学60、医歯学4	九州大学8、名古屋大学3、その他5
医学部（保健学科）	9	保健学8	東海大学1
工学部	236	理工学220	九州大学7、熊本大学2、その他7
農学部	59	農学50	九州大学6、その他3
水産学部	33	水産学23、教育学1	東京海洋大学4、広島大学2、その他3

※医学科、歯学部は研修医になるため、大学院には進学しない。

就職支援センターのホームページ

http://shushoku.kuas.kagoshima-u.ac.jp

就職支援センターのホームページでは、就職ガイダンス、企業セミナー等の支援プログラムの閲覧の他、求人情報や詳細な進路データの確認もできます。

◎平成21年度学事日程

4月7日	入学式
4月10日～7月23日	前期授業
4月13日～5月1日	定期健康診断
7月24日～30日	前期末試験
8月1日～9月30日	夏季休業
9月9日	成績発表
9月15日～17日	後期履修申請期間
10月1日～1月27日	後期授業
11月13日～17日（予定）	大学祭
12月24日～1月3日	冬季休業
1月29日～2月4日	後期末試験
2月19日	成績発表
3月16日～18日	22年度前期履修申請受付期間
3月25日	卒業式

KAGOSHIMA UNIVERSITY ANNUAL SCHEDULE 2009-10

《共通教育の例》